

第 76 回北日本病害虫研究発表会

場所 札幌市「北海道立道民活動センタービル かでの 2・7」

◆研究発表会日程◆

口頭発表（1F かでのホール）

2月21日（火）	9:40～10:30	総 会
	10:40～12:00	一般講演
	12:00～13:00	休 憩
	13:00～16:20	一般講演
	16:30～17:30	特別講演
2月22日（水）	9:20～12:00	一般講演

ポスター発表（1F 展示ホール）

2月21日（火）	10:40～16:00
2月22日（水）	9:20～12:00

会 務 連 絡

- 講演・ポスターの無断撮影・録音ならびに許可のない講演内容の引用などは一切ご遠慮ください。
- 講演時間は8分、討論2分とします（1鈴7分、2鈴8分、3鈴10分）。プログラム通り運営したいと思いますのでご協力をお願い致します。
- 講演終了者は次の講演の座長をお願いいたします。
- 発表データはかでのホール入口のファイル受付にてPPTの動作を確認後、下記の時間までにファイル受付にある保存用PCに保存して下さい。
 - ・2月21日午前の講演：2月21日10:00まで
 - ・2月21日午後の講演：2月21日12:00まで
 - ・2月22日午前の講演：2月21日16:00まで
- 受付は、両日とも9:00開始予定です。

北日本病害虫研究会

令和5年（2023年）2月

第1日目(2月21日)

開 会

一 般 講 演 (10:40~12:00、13:00~16:20)

1. 圃場におけるばか苗病の発消長 ○印 発表者
○宮野法近¹・狐塚慶子¹ 1) 宮城古川農試
2. 水稻育苗培土の違いがイネもみ枯細菌病の発生と苗質に及ぼす影響
○渡辺恭平¹・藤井直哉¹・齋藤隆明¹ 1) 秋田農試
3. 高密度播種苗栽培における育苗箱施用剤の使用量とイネ紋枯病に対する防除効果の関係
○八木橋素良¹・倉内賢一¹・花岡朋絵¹ 1) 青森産技セ農林総研
4. 水稻高密度播種苗栽培における育苗箱灌注剤による葉いもち及び紋枯病に対する防除効果
○藤井直哉¹・齋藤隆明¹・渡辺恭平¹ 1) 秋田農試
5. 福島県におけるイネドロオイムシのチアメトキサム感受性低下と要因の推定
○金澤優紀¹・青木大祐¹・吉田昂樹¹・有賀雅喜^{1,2}・東條浩幸¹ 1) 福島農総セ 2) 現：喜多方普及所
6. 山形県におけるアカヒゲホソミドリカスミカメのジノテフランに対する感受性
○山本優里¹・中島具子¹・齋藤睦美^{1,2}・横山克至¹ 1) 山形農総研セ 2) 現：山形防除所

休 憩 (12:00~13:00)

7. 殺虫剤だけに頼らない斑点米カメムシ類防除の検討
○吉田雅紀¹・田中真衣² 1) 岩手農研セ 2) 中部普及セ
8. 2019-2022年の宮城県におけるクモヘリカメムシの分布状況
○川端泉穂¹・小野 亨¹・齋藤健多¹・田淵 研²・吉村英翔²・舩谷悠祐² 1) 宮城古川農試 2) 農研機構東北農研
9. 福島県におけるダイズ紫斑病菌のアゾキシストロビン剤感受性
○前原 瞳¹・大竹裕規¹・山田真孝¹ 1) 福島農総セ
10. 宮城県におけるダイズ紫斑病のQol剤に対する感受性
○狐塚慶子¹・宮野法近¹ 1) 宮城古川農試
11. テーブルビートに発生した黒色腐敗症状とその品種間差異
岩間成美¹・佐藤優平¹・野津あゆみ²・薦田優香¹・○児玉不雄³・園田高広¹
1) 酪農大 2) 道総研農研本部 3) (一社) 北植防
12. トマトかいよう病菌の越冬源と次作における伝染源
○大竹裕規¹・堀越紀夫¹ 1) 福島農総セ
13. ハクサイ品種「祭典ネオ70」の根こぶ病汚染ほ場における適応可能性
○進藤友恵¹・板橋 建¹・千葉直樹¹・鹿野 弘¹・澤里昭寿^{1,4}・高橋勇人¹・伊藤 隼¹・加治 誠²・勝又雅彦²・藤本 龍³
1) 宮城農園研 2) (株) 渡辺採種場 3) 神戸大学 4) 現：宮城県農村振興課
14. 岩手県県北地域で発生しているキャベツ根こぶ病菌に対する数種キャベツ品種の抵抗性評価
○羽田厚¹ 1) 岩手農研セ県北
15. *Dickeya* sp.によるネギ軟腐病の防除対策の検討
○横田 誠¹・森 和也²・五十嵐美穂³ 1) 山形防除所 2) 山形最上産研 3) 山形庄内産研
16. ニンニクさび病に対する消雪後の薬剤散布開始時期の目安
○岩間俊太¹ 1) 青森産技セ農林総研
17. イチゴに発生した *Alternaria alternata* による果実腐敗症状
○花岡朋絵¹・八木橋素良¹・岩間俊太¹ 1) 青森産技セ農林総研
18. エダマメにおけるマルチローターを用いた高濃度少量散布のツメクサガに対する防除効果
○蛭川泰成¹・高橋良知¹・菊池英樹² 1) 秋田農試 2) 秋田普及
19. トマト栽培における異なる微生物農薬の混合処理による病害虫同時防除効果
○駒形泰之¹・大江高穂¹・関根崇行¹・格井晶吾¹・山中 聡² 1) 宮城農園研 2) アリスタライフサイエンス(株)
20. 北海道で春季に発生するコナガの飛来源推定とジアミド系薬剤抵抗性遺伝子頻度
○下間悠士¹・丸山麻理弥² 1) 道総研中央農試 2) 道総研十勝農試
21. ねぎ主要害虫に対する防除体系
○鈴木敏男¹ 1) 岩手県植防
22. 春タマネギ圃場への二次植物導入によるネギアザミウマ抑制効果
○関根崇行¹・大江高穂¹・駒形泰之¹・板橋 建¹・進藤友恵¹ 1) 宮城農園研
23. おとりトラップによって捕獲されるヒラタアブ類：捕獲される種と捕獲消長
○田淵 研¹・吉村英翔¹・上杉龍士¹・下田武志¹ 1) 農研機構東北農研

24. エコピタ液剤のナミハダニ、カンザワハダニ、コナガ、オオタバコガ、ハスモンヨトウ雌成虫の産卵に対する阻害効果
○河津 圭¹ 1) 協友アグリ株式会社
25. エコピタ液剤のマデイラコナカイガラムシに対する密度抑制効果
○松村庸央¹・河津 圭¹ 1) 協友アグリ株式会社

特 別 講 演 (16:30~17:30)

「青色光による殺虫技術の開発とその利用～現状と今後の展望～」

堀 雅敏 氏 (東北大学大学院農学研究科教授)

第2日目 (2月22日)

一 般 講 演 (9:20~12:00)

26. オウトウのウメシロカイガラムシに対するスルホキサフロル水和剤とブプロフェジン水和剤の防除時期の検討
○伊藤慎一¹ 1) 山形防除所
27. セイヨウナシ‘ル レクチェ’における土着天敵を活用したIPM防除法の検討
○土田祥子¹・棚橋 恵¹・黒田智久^{1,2}・堀川拓未¹ 1) 新潟農総研園研セ 2) 現：新潟農総研
28. ツヤハダゴマダラカミキリのリンゴに対する寄生リスク調査及び街路樹における発生消長
○高橋佳大¹・中村 淳¹・中村 傑¹ 1) 福島農総セ果樹研
29. 福島県会津地域のリンゴ栽培における銅剤の使用を考慮したアシノナビル水和剤使用時期の検証
○中村 傑¹・吉田昂樹²・高橋佳大¹・中村 淳¹ 1) 福島農総セ果樹研 2) 福島農総セ
30. ジアミド系殺虫剤のリンゴコカクモンハマキに対する残効性
○石栗陽一¹ 1) 青森県産業技術センターりんご研究所
31. 訪花昆虫体表花粉および種子のS遺伝子型から見るリンゴの重要訪花昆虫種群とその移動範囲
○降幡駿介¹・岸本英成¹・屋良佳緒利¹・外山晶敏¹ 1) 農研機構植防研
32. リンゴ褐斑病の一次感染の早期化が秋期の広域的な発生に及ぼす影響
○猫塚修一¹・藤田章宏² 1) 岩手農研セ 2) 岩手防除所
33. 薬剤耐性リンゴ黒星病菌の発生に対応した薬剤の効果及び散布開始適期について
○森 万菜実¹ 1) 道総研中央農試
34. 山形県におけるりんご黒星病に対する体系防除の効果
○後藤新一¹・富樫政博²・佐藤光明¹ 1) 山形農総研セ園芸研 2) 山形庄内農普産地研
35. 山形県におけるリンゴ黒星病発生減少の要因について
○齋藤睦美¹・柏浦侑喜¹・後藤新一² 1) 山形防除所 2) 山形農総セ園芸研
36. 貯蔵中のリンゴに発生するリンゴ黒星病の感染時期
○十川聡子¹ 1) 青森県産業技術センターりんご研究所
37. 福島県におけるナシ黒星病に対する秋期防除の開始時期と削減体系の検証
○藤田剛輝¹・七海隆之^{1,2} 1) 福島農総セ果樹研 2) 現：福島県環境保全農業課
38. ニホンナシ黒星病の果実発病に対する梅雨期の各種薬剤の防除効果
○長澤正士¹・石崎理彩¹ 1) 秋田果樹試天王

ポスター発表 (2月21日 ~22日)

1. 宮城県における水稻移植・直播栽培のイネいもち病の発生様相および発生リスクに関する要因解析
○福土柁人¹・大場淳司¹ 1) 宮城防除所
2. イネ苗細菌病抑制活性を持つ落葉堆肥から単離されたバクテリオファージの性状解析とその農業利用に向けた検討
○金井塚文音¹・佐々木稜太¹・宮下脩平¹・高橋英樹¹ 1) 東北大院農
3. 中後期除草剤による雑草防除が及ぼすアカスジカスミカメの密度抑制効果
○小野 亨¹・川端泉穂¹・齋藤健多¹ 1) 宮城古川農試
4. 山形県における斑点米カメムシ類の発生状況の変化とその要因
○中島具子¹・山本優里¹・土門 清²・古賀千博²・横山克至¹ 1) 山形農総研セ 2) 山形防除所

5. 原子力災害に伴う営農中断が水田におけるカエル類の生息に及ぼす影響
○松木伸浩¹・吉岡明良²・田淵 研³・遠藤わか菜⁴・三田村敏正⁵
1) 福島農総セ会津研 2) 国環研福島拠点 3) 農研機構東北農研 4) 福島県北農林 5) 福島農総セ浜研
6. 飼育環境がコバネイナゴの体色に与える影響
○兼子優也¹・石川 諒¹・中村茂雄¹ 1) 宮城大食産
7. KASP 法によるダイズ紫斑病菌 (*Cercospora kikuchii*) のアゾキシストロビン感受性に関する一塩基多型の検出
○板橋 建¹・高城拓未^{2,3}・進藤友恵¹・千葉直樹¹・狐塚慶子²・宮野法近²
1) 宮城農園研 2) 宮城古川農試 3) 現：宮城農振課
8. 山形県におけるダイズ葉焼病と斑点細菌病の発生状況と両病害の圃場での見分け方
○菅原隆介¹ 1) 山形防除所
9. ダイズ品種「里のほほえみ」におけるべと病の発生と被害の関係
○森谷真紀子¹・中島具子¹・小関彩恵子¹ 1) 山形農総研セ
10. 東北地方のマメシクイガに対するジアミド系殺虫剤の効果
○吉村英翔¹・田淵 研¹・對馬佑介²・中島具子³・山本優里³・吉田昂樹⁴
1) 農研機構東北農研 2) 青森産技セ農林総研 3) 山形農総研セ 4) 福島農総セ
11. 青森県津軽地域におけるダイズ吸実性カメムシの発生と被害状況
○對馬佑介¹・石岡将樹¹ 1) 青森産技セ農林総研
12. タバコガ類幼虫のBT剤に対する薬剤感受性検定手法の検討
○齋藤健多¹・小野 亨¹・川端泉穂¹ 1) 宮城古川農試
13. ジャガイモのジャガイモヒゲナガアブラムシに対するインファロー散布の効果
○丸山麻理弥¹・佐々木太陽²・小野寺鶴将²・三宅規文³ 1) 道総研十勝農試 2) 道総研北見農試 3) 道総研農研本部
14. 北海道のジャガイモ圃場におけるアブラムシによるジャガイモウイルス3種の保有状況
○佐野正和¹・大木健広¹・小野塚信哉^{1,2}・高篠賢二^{1,3}・豊島真吾¹・眞岡哲夫^{1,3}
1) 農研機構北農研 2) 現：農研機構種管セ 3) 現：農研機構植防研
15. ジャガイモのナストビハムシに対するインファロー散布機を用いた現地実証
○佐々木太陽¹・丸山麻理弥²・小野寺鶴将¹ 1) 道総研北見農試 2) 道総研十勝農試
16. ブロッコリー根こぶ病の多発要因と排水性改善による被害軽減効果
○野津あゆみ^{1,2}・角野晶大^{1,3}・西脇由恵¹ 1) 道総研中央農試 2) 現：道総研農研本部 3) 現：ホクサン株式会社
17. 北海道におけるアスパラガス茎枯病菌の薬剤に対する感受性
○長浜 恵¹ 1) 道総研上川農試
18. 秋田県のアスパラガスハウス半促成栽培における病害の発生実態
○齋藤隆明¹・藤井直哉¹・渡辺恭平¹ 1) 秋田農試
19. 青森県における春タマネギ栽培での二次植物導入によるネギアザミウマ密度抑制効果
○石岡将樹¹・對馬佑介¹ 1) 青森産技農林総研
20. 春まきタマネギ栽培における倒伏期以降の殺虫剤散布がネギアザミウマと病害の発生に及ぼす影響（予報）
○横田 啓¹・佐々木達史¹ 1) 岩手農研セ
21. 宮城県におけるネギハモグリバエバイオタイプBの発生と被害の状況
○木村優太¹・門間由美子¹・大場淳司¹ 1) 宮城防除所
22. 微生物製剤2種のブロー混用散布による病害虫同時防除効果
○格井晶吾¹・駒形泰之¹・関根崇行¹・大江高穂¹・山中 聡² 1) 宮城農園研 2) アリスタライフサイエンス（株）
23. タバコカスミカメでトマト果実の白ぶくれ症を抑制できるか：ヒラズハナアザミウマとの戦い
○村上珠利¹・藤沢 巧¹ 1) 岩手県農業研究センター
24. 道北地方におけるアブラムシの胎生越冬事例
○佐々木大介¹ 1) 道総研上川農試
25. 青森県におけるリンゴ褐斑病菌の各種薬剤感受性
○平山和幸¹ 1) 青森産技セりんご研
26. 福島県におけるブドウ黒とう病及びブドウ晩腐病の防除対策強化の検討
○日下部翔平¹ 1) 福島農総セ果樹研
27. リンゴ果実に侵入するトビムシ類の発生生態調査
○小笠原南美¹・石栗陽一¹ 1) 青森県産技セりんご研
28. 北日本における侵入害虫クリタマバチの天敵寄生蜂（導入・土着）の分布について
○屋良佳緒利¹・下田武志¹ 1) 農研機構植防研
29. 岩手県で多発したキンモンホソガの発生要因解析
○及川優介¹・藤田章宏¹・大友令史¹ 1) 岩手防除所